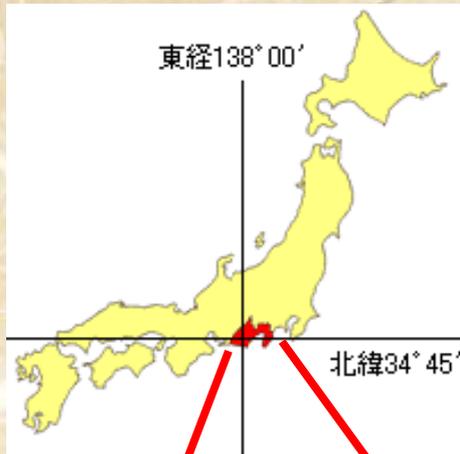




掛川市の概要 位置



旧掛川市・旧大東町
旧大須賀町(1市2町)
平成17年4月に合併



面積 約266km²
人口 約119千人
東西16km
南北30km
海岸線 10.2km
平均気温 17℃



● **農業**

農業産出額 203億円 (H18、県内3位)

● **工業**

製造品出荷額 1兆5,257億円 (H19、県内5位)

● **商業**

年間商品販売額 2,232億円 (H19)

● **観光**

掛川城、つま恋、菖蒲園、花鳥園

● **歴史**

**東海道五十三次の日坂宿と掛川宿
掛川城、高天神城、横須賀城**



地球と共に生きる地域を目指して

WAKUWAKU西郷 ソーラー大作戦

地域の活動で西郷小学校に
太陽光発電施設を設置

NPO法人WAKUWAKU西郷

平成23年10月31日

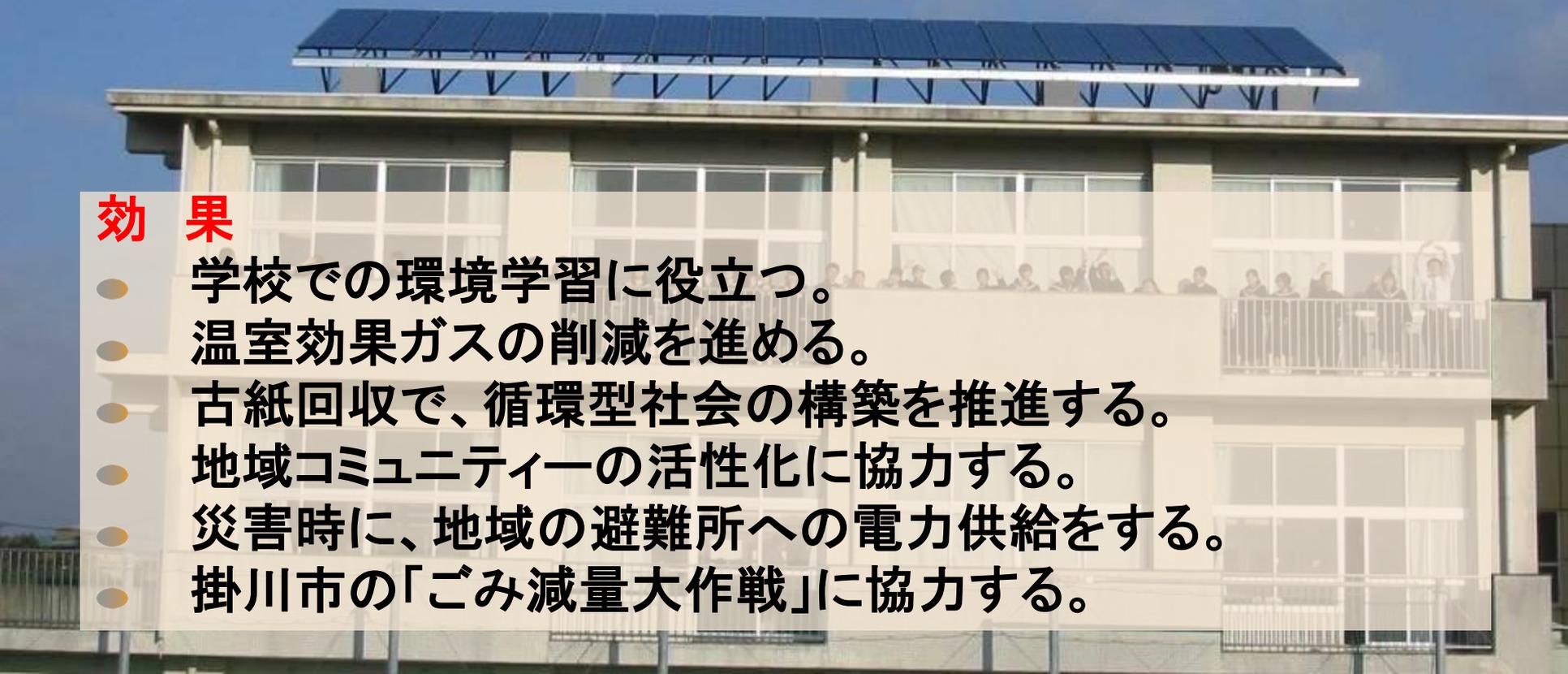
古紙回収の売払金を活用した太陽光発電施設の設置

目的

- ① 資源物の古紙回収を行い、収益金で公共施設に太陽光発電施設を設置し環境教材として活用する。
- ② 地域の地球温暖化対策を、住民自らが推進する。

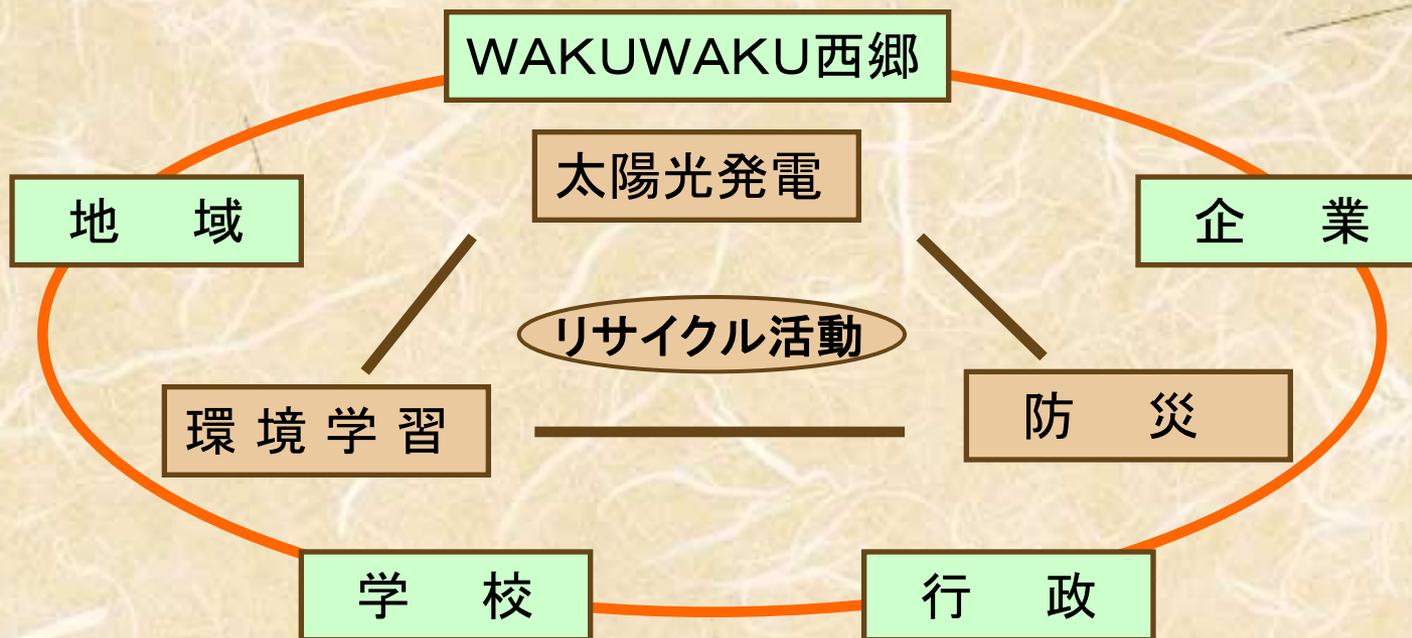
効果

- 学校での環境学習に役立つ。
- 温室効果ガスの削減を進める。
- 古紙回収で、循環型社会の構築を推進する。
- 地域コミュニティの活性化に協力する。
- 災害時に、地域の避難所への電力供給をする。
- 掛川市の「ごみ減量大作戦」に協力する。



WAKUWAKU西郷の活動

環境活動イメージ



組織

- 会員数: 正会員14人 + サポート会員30人
- NPO設立: 平成19年7月2日
- 活動地域: 西郷地区(西郷小学校区)

古紙回収で太陽光発電施設の設置②

集団回収：年6回実施

常時回収：常設倉庫3カ所

月例回収：市の資源回収をやめ、月1回収

事業所回収：協力企業への回収

平成22年4月～平成23年3月の古紙回収量
約150トン



古紙回収風景



常時古紙回収倉庫

環境学習の実施 ①

● 夏休み環境学習会(寺子屋)

古紙のリサイクル工場の見学
西郷小学校 5. 6年生 の参加



環境学習の実施 ②

● 西郷小学校への雨水タンクの設置

温暖化防止と省資源を推進

花壇の散水等に活用

各主体の連携により設置

事業者：タンクの提供

学校：設置場所の提供と教材としての使用

WAKUWAKU西郷：企画と設置作業



新聞記事



古紙回収
に汗を流す
西郷地区住
民 掛川市
立西郷小

古紙回収
に汗を流す
西郷地区住
民 掛川市
立西郷小

掛川市のNPO法人
「わくわく西郷」(松
浦昌巳代表)は市立西
郷小への太陽光発電機
掛川「わくわく西郷」
太陽光発電導入を

古紙回収で小学校に
太陽光発電導入を
掛川「わくわく西郷」
掛川市のNPO法人
「わくわく西郷」(松
浦昌巳代表)は市立西
郷小への太陽光発電機
掛川「わくわく西郷」
太陽光発電導入を



雨水タンクから植物の水やり用の水を出す児童ら 掛川市西郷小学校で

雨水をためて花壇の水
やりなどに使う雨水タン
ク(容量四百七十リットル)
が、二十六日、掛川市西郷小
学校に寄贈された。同小
は十九日にも、有志から
分別ごみ集積所の寄贈
を受けたばかり。来年二
月には、太陽光パネルの
寄贈設置をラレセントさ
れる予定になっており、
環境教育に役立てられ
る。西郷地区で環境学習
を進めるNPO法人「WA
KAWAKU西郷」(松
浦昌巳理事長)が、同市
下掛木の中山住設の中山
政行代表に依頼して製作
した。
不要になった深夜電気
温水器のステンレスタ
ンクを再利用した。校舎
屋上に降った雨が、とい
ふ。たまった水は必要
な時に蛇口から出し、校
内の花や野菜の水やり
に使えるため、節水に役
立っている。
全児童三百八十一人が
参加して寄贈式があり、
松浦理事長が「省資源や
地球温暖化防止に役立て
て」とあいさつすると、
小松校長は「雨水は天か
らの恵み。有効に利用す
ることは意義がある。毎
日の生活から環境のこと
を学ぶきっかけに」と
と礼を述べた。
児童らは早速、蛇口を
ひねって水を取り出し、
空気にトポトルに移す
などして花や野菜に水を
やっていた。三年生の雪山大
河原は「雨水で消毒など
はされていないので、植
物にもきつ」といいと思
う」と話した。
WAKAWAKU西郷
は古紙回収事業に取り組
んでおり、この資金と環
境省の補助で来年二月、
同小に太陽光発電装置を
設置する予定。
(堀三紀男)

雨水ためて節水心がけ 西郷小にNPOがタンク寄贈

静岡新聞 平成19年8月19日

中日新聞 平成19年10月27日

環境学習の実施 ③

● 緑のエコカーテンの育成

温暖化防止と省資源を推進

緑のカーテンで夏を涼しく

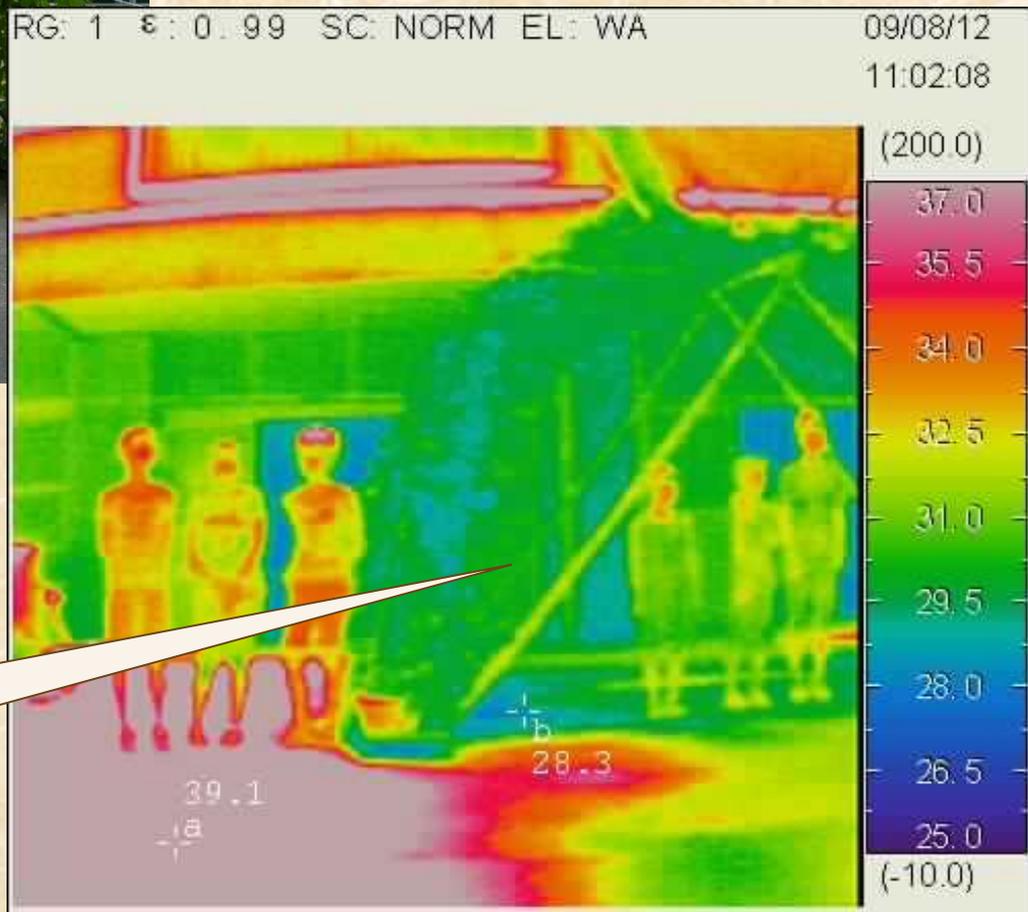
地域住民がエコ大使として児童と共同作業



「緑のエコカーテン」



アサガオとゴーヤで緑のカーテン
を作りました。
トンネルは大好評でした！



☆サーモグラフィーの写真
・トンネルの中と外では10度
以上の差がありました！

環境学習の実施 ④

- 発電量で世界一週の到達日を予想
より太陽光発電を身近に感じてもらう。
学校と地域も巻き込んで、続ける。
楽しみながら、興味を持ち続ける。



西郷小ソーラーカー“世界9周 達成日時”予想クイズ！！

西郷地区のみなさまのおかげで西郷小学校太陽光発電所も順調に発電をしています。古紙リサイクルにおいても、一般家庭はもちろん近隣の企業のみなさまの協力も増えてきました。本当にありがとうございます。

さて、平成20年3月14日に西郷小の太陽光発電施設が稼働を始めて以来約3年、ついに総発電量は**35,000kwh**となりました。

右は、平成23年1月5日(水)14:00 現在の昇降口パネルの様子です。西郷小ソーラーカーの走行距離は、**455,000km**です。すでに地球を8周し、9周目も半分以上進みました。現在は、イギリスを通過し、アメリカに向かって大西洋を爆進しています。今後、ソーラーカーは、アメリカ大陸を縦断し、オーストラリアを経由して日本に戻ります。その日時を予想してみてください。走行距離が**486,900km**(地球1周54,100 km ×9周)になったとき、ソーラーカーは日本に戻ったことになります。



記

1 応募方法

(1) 下記「応募用紙」による

*応募は1人1枚とします。なお家族皆様でご応募いただく場合は、下記「応募用紙」をコピーしてお使い下さい。

(2) しめきり・・・・・・2月10日(木) 午後5時

(3) 場 所・・・・・・西郷小学校 事務室前 投票箱

2 賞 品

(1) 達成日ズバリ賞

美味しい新茶 (今年の新茶の引換券) *達成日時に近い方1~3名

(2) ニアピン賞(若干名)

エコグッズ

表彰の人数は結果によって変更となる場合があります。

3 その他

◇ 平日、昇降口のパネルを見る場合は事務室に一声かけてください。

◇ 10周目の賞品を提供してくださる方を募集します。サービス券、割引券、野菜や果物など何でも構いません、みんながわくわくするような賞品をご提供いただけるとありがたいです。

◇ お問い合わせは、WAKUWAKU西郷 松浦(090-6618-9525)までお願いします。

.....キリトリ.....

西郷小太陽光発電所 ソーラーカー「世界9周達成日時」予想クイズ 応募用紙

世界9周達成日時 : 月 日 午前・午後 時 分

○お名前: _____

※ 西郷小児童の家族の場合、児童の学級・名前: _____ 年 組 名前 _____

○ご住所: _____ ○電話番号: _____

新聞記事

平成22年(2010年)12月23日(木曜日)

頁争

頁専

発行

太陽光発電量、走行距離に換算

“ソーラーカー”地球9周目

掛川・西郷小

太陽光発電量をソーラーカー走行距離としても表示するパネル「掛川市立西郷小」



特製パネルで関心喚起

掛川市内の小中学校全31校への太陽光発電装置の設置が本年度完了した。各校の装置には、当日や累計の発電量を表示するパネルが付けられ、児童生徒に環境や新エネルギーへの関心を高めようとおうとしている。小学校では初めて導入された西郷小(向市西郷小)の児童昇降口にある表示パネルには、発電量をソーラーカー走行距離に換算して表示する他校にない機能がある。設置2年9カ月の「西郷小ソーラーカー」は地球9周目を走っている。

仮想のソーラーカーは人「WAKUWAKU西郷」の時で13分を進むと郷(松浦昌巳代表)が設定され、日本を出発し、地元(松浦)の住民や企業の協力を、中国、インド、欧州、米国、豪州など13カ国を導き入れた。走行距離5万4100キロを経て、換算表示は特別注文した世界1周する、太平洋横断断など、海上ではソーラーボートになると想定されている。西郷小のパネルも他校同様に、発電量を石油節約量や二酸化炭素排出削減量などに換算して表示しているが、「世界旅行に例えるのが児童に分かりやすいように」と同校の安松校長は話す。一緒に計算しました。同校のソーラーシステムは、多面的に環境活動を展開する地元NPO法

第9回しずおか新エネルギー大賞

平成20年11月16日

導入事例部門で「審査員特別賞」を受賞



静岡県STOP温暖化

アクションキャンペーン2007

平成20年2月23日

地域活動部門で「グランプリ」を受賞

STOP温暖化大作戦 全国大会

平成21年2月14日、静岡県代表として
「審査委員特別賞」を受賞



インターネット投票で、47都道府県中で、第8位
と多くの人々が支持。

NPOとしての今後の活動

- ① 地区内の公共施設へ太陽光発電を設置する。
- ② 地域で雨水タンクを普及する。
- ③ 小学校における環境学習の実施する。
- ④ 地域住民を対象に、環境講演会の開催する。
- ⑤ 地区広報や会報による啓発活動を実施する。
- ⑥ 新たな活動団体の育成を進める。

西郷小学校に設置してた太陽光発電施設を核に、子供たちや地域住民と共に、地球温暖化防止の推進と循環型社会を創りながら、地域の経済を活性化させていきます。

市内全小中学校への太陽光発電施設設置



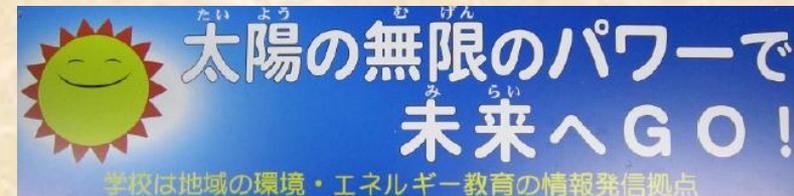
スクールニューディール構想による学校エコ改修事業

10kW 29校

全体事業費 340,803千円

年間発電量 377,000kWh

二酸化炭素削減量 141.4CO₂



地域の環境・エネルギー教育の情報発信拠点



NPO法人 エコロジーアクション桜が丘の会



NPO法人 WAKUWAKU西郷

環境共育楽習プラン

全小中学校へNPO団体による出前講座を実施

- ・災害非常時での電力確保
- ・地域防災訓練における活用

小中学校の太陽光発電施設啓発活動

掛川市小中学校

「エコネット チャレンジ カップ」(案)



・目的

スクールニューディール政策によって各校に設置された太陽光発電システムを有効に活用し、各校での環境への取り組みを集約することで環境意識を向上させる。

民間の環境団体の集まった「掛川市エコ・ネットワーク」と「教育委員会」(行政)が共通の目的をもち活動することは、地球温暖化対策をはじめとする環境教育の推進につながる。

・内容

各小中学校は下記に表した項目を実施し年間の得点の高い学校を「環境を考える市民の集い」で表彰する。



・審査項目

・「節電の部」

24年度の1ヶ月の平均電気使用量と過去3年間の1ヶ月の平均とを比較

・「緑のカーテンの部」・「環境作文の部」・「環境ポスターの部」

・「レポートの部」・「リサイクルの部」・「環境講座の部」

・「環境学習の部」ほか

掛川市の取り組み

太陽光発電施設の全戸設置

(松井市長のマニフェスト)

太陽光発電施設、5年後を目処に20%の設置率を目指す

(2011年6月22日 掛川市議会市長答弁)

- 2010年度末の設置率は3.43%
- 設置率20% = 設置戸数約5,800戸
- 施策
 - ・啓発（エネルギーフォーラム、市民集会等）
 - ・金融機関に、施設設置の低利融資を
 - ・市補助金の増額（2万円→4万円）
 - ・国・県補助金のPR
 - ・かけがわ太陽と風、市民・企業のカプロジェクトや東京工業大学との連携による普及促進
 - ・STOP温暖化パートナーシップ協定締結事業者や太陽光発電設置事業者をソーラーアドバイザーとして登録し、市民向けの相談会を実施（市役所、イベントなど）
 - ・「太陽光普及促進協議会」の発足



東京工業大学との協働施策

～太陽光発電自己診断支援システム～

しっかり発電、なが～く発電

市役所への設置
・日射計、気温計



掛川市役所

発電推定量の算出



東京工業大学

ウェブサイトで
情報提供



PV設置家庭

“自己診断システム”

- ・地域レベルの正確な発電量推定
- ・リアルタイムでの情報更新
- ・意見・要望の収集
- ・解決策の提示